

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0572510618		
法人名	株式会社 博コーポレーション		
事業所名	グループホーム鳥海		
所在地	秋田県由利本荘市鳥海町下笹子字田中61-2		
自己評価作成日		評価結果市町村受理日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

御入居者様が安心して毎日楽しく過ごしていること。
御入居者様一人一人が趣味に応じた時間を個別に行動できている。
野外活動を活発に実施している。
食事が美味しいと満足した状況にあること。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.akita-longlife.net/evaluation/
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利法人 秋田マイケアプラン研究会		
所在地	秋田市東通3丁目9-31		
訪問調査日	平成22年8月20日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

自然環境に恵まれた土地にあり、近隣の方々との交流も盛んに行われていて、地域に根ざした生活をされているホームです。近隣住民の協力も得て、敷地内の畑で利用者が職員と共に野菜や花を栽培し、収穫した野菜は食材として利用されます。日常的に外出する機会を設けて、ホームの中だけで過ごさない支援もされていて、利用者はホームでの生活を楽しくしています。詳細な介護記録や毎月の全体会議での意見交換により、日々のサービスが実践されています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、代表者と管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域に密着し協力体制を深め、落ち着いた環境の中で生活できるように努めるという理念を踏まえ、実践につなげている。また、事務所やホール内に理念を掲示し共有している。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を職員全員で作成し、常時話し合いを持ってサービスを実践されています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の理髪店、パーマ屋さんを利用したり地域の中に入って交流する場面がある。また、町内のお祭り等に参加している。本を借りるために公民館の使用もしている。	町内会の理解もあり、ホームの存在が地域に浸透しております。納涼祭には地域住民が大勢参加され、時には野菜を持って立ち寄り一緒に食事をしていく等、交流は盛んに行われています。	
3		○事業所の力を活かした地域とのつながり 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に伝え、地域貢献している	ホームの周囲の清掃は勿論、お花を植えたり野菜を作ったりと近辺の方々からお力をかりたり当方の行事の際は声掛けし参加を通じて地域の方々に理解を深めていただいている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	話し合いの中で改善事項を重視し適切に対応している。	ホーム関係者の他、市役所保健課職員、消防署長、自治会長、利用者家族が出席し、2ヶ月に1回定期的に開催されて意見交換が行われています。家族からの要望を聞く機会でもあり、サービスの質の向上に活かされています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	ケア会議等で協力依頼と情報の収集をしている	ケア会議には毎月管理者が参加され、包括職員との連携、協力を得ながら利用者支援に繋げる取り組みをされています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	絶対禁で研修を行っている	研修等で職員全員が身体拘束の弊害を理解し対応されています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	常に重要と考え研修も行っている		

株式会社博コーポレーショングループホーム鳥海

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	支援できるように研修を行っている		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	改善については家族の了解を得て特に問題はなし		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	全体会議で討議し改善に向けて動いている	面会時や電話、運営推進会議で意見、要望を聞く機会を設けて全体会議で検討し、運営に反映させる取り組みをされています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議で話し合いを行い運営に反映している	毎月の全体会議には本部の事務局長も必ず出席されて、職員の意見や提案が言える環境作りがされており、運営に反映される取り組みが行われています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談等を行い環境整備できるように努めている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、代表者自身や管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所内は勿論のことグループホーム連絡協議会等への研修への参加を行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、代表者自身や管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会の年4回の研修に参加して交流の機会を持っている		

株式会社博コーポレーショングループホーム鳥海

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	初回相談時や入居時にご本人様の意向を聞き取り快適な生活が送れるように努力している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様からの情報はとても大事なので話し合いを行い受け止める努力をしている		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様とスタッフとの差別なく一体となって動いている 野外活動やキッチン作業等		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	電話や面会の際にご家族様との話し合いを重視して関係作りに努めている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や電話で関わり場の提供したり外出して訪問したりして支援している	知人が電話をくれたり、訪問してくれることもあり、美容院に出かける等これまでの生活習慣が継続的にできるよう支援されています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お互いに助けあっている姿が日常茶飯事みられている		

株式会社博コーポレーショングループホーム鳥海

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他施設の紹介をしたり後のアプローチも行ったっている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご本人様の意向を把握し満足した生活をすることができるよう努めている。	利用者の生活リズムで過ごせるよう、一人ひとり尊重されたサービスが実践されています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	初回相談時や入居時より背景を把握し今後のサービス提供に反映できるように努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントしたり、日常生活を観察するなどして把握するように努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメント、ご本人様、ご家族様の意向を確認し、課題設定した上で個々に対するサービス内容がくまれた介護計画を作成している	アセスメントやモニタリングにより利用者、家族の意向が反映された介護計画が作成されています。詳細な個別記録が計画の見直しに活かされています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画の見直しにいかせるように個別記録を整備している また、実践状況等の記入も行っている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる ※小規模多機能型居宅介護限定項目とする			

株式会社博コーポレーショングループホーム鳥海

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	警察、消防、医療機関等の協力をしながら快適な生活ができるよう支援している		
30	(11)	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院を設けており、入居前の説明時にその旨を説明。協力病院にかかることを納得の上での入居となる。その他の科にかかりたい場合も身元引受人様に確認して通院介助の支援を行っている	利用者、家族の希望するかかりつけ医での継続受診も可能です。協力病院からは週1回の往診があり、24時間対応可能な体制になっています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	准看護師が管理者と兼務しており、相談・報告をし、常にご入居者様の健康管理に努めている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	管理者がご本人様、ご家族様、医療関係者と話し合いを行い、状況に応じた対応をしている		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	管理者がご家族様と医師と終末期に向けた話し合いや相談をし、職員とも情報を共有するようにしている	契約時に利用者、家族に説明し、職員が共通の認識で支援できるよう情報を共有しています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	研修を行い身につけることができるように努力している		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	協力体制を依頼していると共に、研修や訓練を行い身につけるように努力している	消防署の協力を得て、近隣住民も参加して夜間を想定した訓練を行っております。近隣の協力が得られるよう常に働きかけもされています。	

株式会社博コーポレーショングループホーム鳥海

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	全体会議等での指導もあり、以前にも増して適切な対応ができるように心掛けている	プライバシーに配慮した穏やかな対応をされていました。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個別対応に努め、導きだせるように努力している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	できるだけご入居者様のペースで生活できるように配慮している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	毎朝のケアでご入居者様と一緒にいる また、理美容院でのカットや顔剃り、パーマ、白髪染めなども行っている		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご入居者様と同じテーブルで同じ物を食べ、時には野外でとれた野菜を使った料理の紹介をして楽しく食事している。苦手な食事の時は代替えしたり、食べこぼしのないよう小鉢を使ったりして支援している	利用者が外食を好まないほどホームの食事を楽しみにされていて、敷地内で採れた野菜が食卓に上がり、職員と一緒に楽しみながら食事をされています。利用者の可能なレベルで配膳下膳、後片付け等の手伝いが行われています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	状況や状態を把握し支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後とまではいかないが夕食後以外は必要に応じて行っている		

株式会社博コーポレーショングループホーム鳥海

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	なるべく失敗をなくすように時間での誘導をおこなっているが、中にはお薬の関係でまならない方もいらっしゃる	チェック表で排泄パターンを把握し、プライバシーに配慮した声かけをして状況に則した支援が行われています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	乳製品提供、多めの水分摂取、運動をする、下剤の調整などをして便秘予防に努めている		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	曜日や時間帯を決めているが、その限りではなく体調の変化や状態に応じて対応している	基本的には週2回と決められていますが、本人の希望や体調に応じた入浴支援が行われています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間の安眠が得られるように、日中はなるべく活動的に過ごしてもらえるように配慮している		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	理解と症状の変化の確認に努めている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴に考慮し、買い物後の荷物運び、キッチン作業、洗濯たたみ、畑作り、食事の際の号令等それぞれ状態に応じた役割を持っていただいているまた、喫煙場所の確保、ゲートボール等参加への支援をしている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	週2回は希望に応じて戸外に外出できるように支援している	職員が積極的に働きかけて外出の機会を作って、日常的に戸外に出かけており、季節の変化を楽しめるよう配慮された外出支援がされています。	

株式会社博コーポレーショングループホーム鳥海

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	希望や力に応じて数名の方が所持している		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をしたいご入居者様には自由に使ってもらっている。手紙のやりとりはほとんどない。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、臭い、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	野外には花を植え、内には植物や絵画を飾り季節感を感じられるように工夫している。ホールにはソファを設置しゆったりくつぎながらテレビをみれるようにしている。臭い等にも配慮し不快のないよう心掛けている	廊下には、ホームでの行事や外出時の写真が貼ってあり、利用者が庭の花を写生した絵も飾られ季節感が実感できるよう工夫されています。日中はホール食堂やソファでゆったりとくつろいで過ごされています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている ※認知症対応型共同生活介護限定項目とする	独りになれたり、ご入居者様同士が交流できる場所が個人の居室以外にない		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にお願いして、使い慣れたタンスやテーブル、ベットやテレビを居室に持ち込んでいただき居心地良く過ごしていただいている。	ホームで設置したベッド以外は利用者が使い慣れた物を持ち込んで、個々の生活の場として過ごされています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な箇所には手すりを設置し浴室では福祉用具の活用、また個々においては身体機能を活かして生活できるよう配慮している		